



同基金は、300名を超える人々からの寄附300万円により設立された市民立ともいえる京都府認定の初めての公益財団法人。



(写真提供：京都地域創造基金)

当日はまず、深尾理事長が開会挨拶、市民活動に必要な資金の流れを新たに作り出すという同基金のミッションと地域社会を支える市民財団というコンセプトを強調、豊かな地域社会の創造を目指し、日本初のチャレンジに取り組みたいと述べた。続いて戸田幸典事務局長が基金の仕組みと事業内容についてプレゼンテーションを行い、その後、原田紀久子・同基金常務理事をコーディネーターに鼎談「“公益を支える” フロントランナーが語るこれからの市民社会」が行われた。山田啓二・京都府知事、榊田隆之・京都信用金庫専務理事、深尾理事長の3者が同基金への期待、市民社会への思いを熱く語った。フォーラムには、NPO法人、公益法人、行政関係者、企業の社会貢献担当者、国会議員ら約230名が参加した。

同基金のプログラムには、寄附者が独自に助成金プログラムを作れる制度「冠助成・冠褒章」、特定の事業に対して寄附し、助成を受けられる制度「事業指定助成」、独自のテーマ設定で地域社会の様々な活動を応援できる制度「テーマ等提案型プログラム」などがある。

同基金では、独自の寄附の仕組

みを生み出すことで、「市民の主体的な活動」を支え、寄附者の想いに沿った助成を行っていく、としている。

京都地域創造基金 設立記念フォーラム開催

公益財団法人京都地域創造基金（理事長・深尾昌峰氏）は10月17日、設立記念フォーラム「“京都発” 市民社会を支える新たな挑戦」を京都・ART COMPLEX 1928ホールで開催した。